

# TPP 参加でいいのか

## 参加で何が変わるのか

「交渉に参加し、その後加盟か撤退を検討する」という発言が閣僚の中からも出ています。無責任であり、日本の国際的信用がますます低下します。

交渉に参加することは関税を撤廃しますという前提条件が必要であり、それを強行すると野田政権は考えています。

「安い農産物が入るからいいではないか」の意見もあります。安くて農薬がいっぱいでは困ります。

食料自給率は39%が13%まで下がると農水省は推計しています。干ばつ・洪水など自然災害で世界的に穀物不足、輸入できない場合が想定できます。食べ物がなければ人間は命を永らえることができません。輸入品が少なくなれば値段が高くなります。農業大国の主張に従うことにつながります。

すでに日本はアメリカに次いで二番目に低い11.7%の関税率になっています。自由化に近い状況→

各地で反対集会が持たれています

JA全中は「反対」請願を1167万人の署名を添えて国会へ提出。356人与野党国会議員が賛同。

10月26日には全国決起集会も日比谷野外音楽堂で3000人が集まり、TPP阻止で決意表明がされました。

集会には全国農業組合中央会、全国漁業協同組合連合会、全国森林組合連合会、生活クラブ生協連合会、日本医師会などが参加。

野田内閣が1月中旬に行われるアジア太平洋経済協力会議で「TPP交渉参加」を表明する方向にあり、反対の世論を広げようと決議されています。

→にあります。

「輸出に強い農業を目指せ」との意見もあります。しかし一戸当たりの耕作面積は、アメリカが日本の100倍、オーストラリアは1500倍あります。値段で太刀打ちできる比較ではありません。

農産物だけではありません。「非関税障壁の撤廃」が要求され、医療分野では日本の「皆保険制度」を崩壊させ「株式会社の病院経営参加」で儲け本位の医療の横行。地元中小業者向け官公需発注ができなくなり、街の活性化に逆行する。「ただ働き残業の横行」「金銭で解雇が自由にできる」など労働法制の改悪。協同組合の共済の廃止も。

あらゆる分野で悪影響を及ぼします。日本人の生活を破壊するTPP参加は絶対認められません。

## 「参加しないよう意見書提出を求める」市民請願が否決

本年3月川西市議会で提出され9月議会でも継続審査にされかかった請願ですが、議会最終日、「継続ではなく採決すべき」とする議員が多数になり、委員会に差し戻され、再度本会議で賛否が問われた結果、賛成者少数で否決されました。

賛成した議員は(敬称略)

住田、森本、北野、黒田、宮坂、北上

反対した議員は

秋田、松田、岡、津田、福西、吉富、吉田、大崎、鈴木、平岡、大矢根、江見、宮路、久保、梶田、安田末廣、多久和、安田忠司。

(議長は小山。欠席は土田)



よし くらしの  
「由さん」の便り  
2011年 11月 280号

川西市議会議員(日本共産党)

住田由之輔 すみだよしのすけ

連絡・下加茂 1-24-23

090-9283-6739

# 議会改革を行っています



\*4から3へ常任委員会を少なく

\*一般質問に一問一答制を導入

\*傍聴者への資料提供を拡充

## 常任委員会

① 総務生活常任委員会 8名

総合政策部、総務部、市民生活部、会計室、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会、農業委員会、消防本部。

② 厚生常任委員会 9人

健康福祉部、こども部、美化推進部。

③ 建設文教公営企業 9人

都市整備部、中央北整備部、教育委員会、上下水道局、市立川西病院。



## 一般質問

一括質問一括答弁で3回まで、がこれまでのやり方でしたが、とことん追求できる一問一答制も合わせ導入し、これまでのやり方とどっちを選択してもいいことになりました。ただし質問時間は40分という枠を決定。もちろん共産党議員団は、議員活動に枠を設けるべきではないと主張しましたが。

## 傍聴者への資料提供

すべての議会委員会等で、議員への資料配布と同じものを5部ですが、閲覧できるよう拡充しました。

## 次期役員が選出されました

議長には梶田忠勝

副議長には多久和桂子

監査は平岡譲

住田は10月27日をもって副議長を退任しました。一年間ご協力ありがとうございました。

10月27日、28日と議会役員選び  
が行われました。

議長選出など選挙になり、梶田忠勝議員20票、黒田みち議員5票で梶田議員に決定。

副議長は多久和桂子17票、黒田みち5票、江見輝男2票で多久和議員に決定。

監査委員は平岡譲20票、黒田みち5票で平岡議員に決定。

その他で住田は、総務生活常任委員会、まちづくり特別委員会、都市計画審議会に所属することになりました。

### 一年間副議長職を経験

させていただき感じたことは、公文書への「確認

印」押しの仕事があり、毎日議会には顔出しが必要ができたことで、ほとんど毎日のように議会へ顔出ししました。

各種団体などの行事に議長が招待され、大半は議長が出席されましたが、時々行事が重なったりして、私のほうに回ってきて、これまで縁のなかつた団体や、関係者とお話をさせていただく機会があつたこと。技をお持ちの方の多いこと。

兵庫、阪神議長会に出席し、他の行政の課題など垣間見ることができたこと。

たまたまですが、大阪空港問題で11市協が国への要請行動をしたとき随行し、地元要望を発言できしたことなど経験しました。

